

第4回北区基本構想審議会 部会3「創出」次第

令和4年2月3日(木) 18時30分

北とぴあカナリアホール

- 1 開会
- 2 前回の部会の振り返り
- 3 意見共有
 - (1) 環境共生・環境保全・資源循環
- 4 分野別の政策検討シートについて
 - (1) 環境共生・環境保全・資源循環
- 5 意見交換
- 6 その他
- 7 閉会



1 当該分野の実績と成果

項目	主な実績	主な成果												
(1) 脱炭素社会	<ul style="list-style-type: none"> 新工エネルギー及び省エネルギー機器等の導入助成延べ1,739件（平成27～令和2年度）。この内、中小企業への助成延べ92件。 区有施設（学校等）への新工エネルギー機器（太陽光発電等）の導入、令和3年現在33施設。 森林環境譲与税を活用した学校施設の木質化（令和元年度浮間中学校等複合施設整備における体育館の木材利用、令和2年度王子第一小学校の改築における校舎ステップホールや体育館等の木材利用） 令和3年6月「北区ゼロカーボンシティ宣言」表明。 	<ul style="list-style-type: none"> 区内温室効果ガス排出量（平成25年度（基準年度）1,272千t-CO₂ →平成30年度 1,229千t-CO₂） 区内再生可能エネルギー導入容量（平成27年度 11,505kW → 令和元年度 13,205kW） 北区役所の温室効果ガス排出量（平成27年度 24.8千t-CO₂ → 令和2年度 20.5千t-CO₂） 												
(2) 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 集団回収事業者認定制度を導入（令和2年度末認定事業者数7件）。 小学生、保育園児を対象としたごみと資源の環境学習（平成27～令和元年度累計6,667人）、リデュースクッキングのレシピの作成などの啓発事業を実施。 不燃ごみ全量を対象とした資源化（令和2年度資源化率91.5%）、金属系粗大ごみの資源化（令和2年度資源化率18.5%）。 令和3年10月「北区食品ロス削減推進計画」策定。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団回収登録団体数微増（平成27年度 390団体 → 令和2年度 424団体） 区民1人1日あたりのごみ排出量削減（平成27年度 687g/人日 → 令和元年度 647g/人日） 												
(3) 自然環境の保全・創出	<ul style="list-style-type: none"> 北区みどりの条例の規定に基づき保護樹木441本、保護樹林14か所、保護生垣41か所を指定。（令和2年度未現在）保護樹木等への維持管理経費等の一部を322件助成。（平成27～令和2年度累計） 環境学習拠点における自然観察や体験講座を393回、北区環境大学の講座として小中高校における環境学習講座を57回、環境リーダー養成講座を117回実施。講座の合計は567回。省エネ道場を延べ28回実施。（平成27～令和2年度累計） 昭和58年度の生垣造成助成制度開始以来、助成を行った長さが累計で5,897m。 「北区みどりの条例」に基づき、令和2年度末現在地域住民によるみどりの協定を2件認定、緑化推進モデル地区を2件指定。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護樹木等への助成及び環境学習講座等の実施により、緑の保護又は地域の緑化啓発につなげた。 講座参加人数合計（平成27～令和2年度累計）：環境学習拠点における自然観察や体験講座延べ8,196人、北区環境大学（小中高校における環境学習講座）延べ1,687人、環境リーダー養成講座延べ989人、省エネ道場延べ642人。 生垣造成助成制度、みどりの協定や緑化推進モデル地区の指定による計画的な植栽整備の促進。 												
(4) 生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染など公害について事業者への指導や区民への普及啓発による発生源対策と実態調査、情報提供を実施。 指定喫煙所の改善工事7か所、屋内喫煙所2か所を整備。そのほか、路上での巡回指導による歩きタバコやポイ捨ての防止、北区路上喫煙の防止に関する条例の周知活動を実施。 令和3年4月からいわゆるごみ屋敷への総合相談窓口を設置し、相談のあった案件に関係各課と連携しながら個別対応。 	<ul style="list-style-type: none"> 北区の環境に関する満足度（満足+やや満足+普通） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気のきれいさ</td> <td>77.7%</td> <td>82.0%</td> </tr> <tr> <td>水と水辺のきれいさ</td> <td>76.2%</td> <td>80.9%</td> </tr> <tr> <td>まわりの静けさ</td> <td>73.5%</td> <td>81.8%</td> </tr> </tbody> </table>		H25	R3	空気のきれいさ	77.7%	82.0%	水と水辺のきれいさ	76.2%	80.9%	まわりの静けさ	73.5%	81.8%
	H25	R3												
空気のきれいさ	77.7%	82.0%												
水と水辺のきれいさ	76.2%	80.9%												
まわりの静けさ	73.5%	81.8%												

2 当該分野における区を取り巻く環境の変化

社会経済動向	法制度や国・都の政策の変化	区民のニーズや行動の変化
<ul style="list-style-type: none"> 2015パリ協定を契機とした二酸化炭素排出量ゼロ実現に向けた機運向上。 海洋プラスチックごみや食品ロスに対する社会的な意識の高まり。 持続可能な形で資源を利用する「循環経済」への移行。 オリンピック・パラリンピック等を契機とした喫煙所の整備に関する気運の高まり。 老朽化による解体や改修を行う建築物のアスベスト飛散防止対策・土壌汚染対策の重要性が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 国は平成30年に「第5次環境基本計画」及び「第5次エネルギー基本計画」を策定、並びに「気候変動適応法」の制定及び「気候変動適応計画」を策定。令和3年に「第6次エネルギー基本計画」を策定。 令和元年5月「食品ロスの削減の推進に関する法律」が成立。令和3年6月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が成立。 東京都は、令和3年3月「東京都食品ロス削減推進計画」を策定。 東京都は令和2年に「緑確保の総合的な方針」を改定し骨格的な緑の充実等を推進。 令和2年4月1日に改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が施行。 令和3年4月からの改正大気汚染防止法の施行によりアスベストへの規制が強化。 国は地球温暖化防止・国土保全等に寄与する森林の整備を進めるために必要な地方財源を安定的に確保することを目的に「森林環境税」を創設。令和元年度より森林環境税の収入額に相当する額を区市町村及び都道府県に対し譲与を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ、省資源、自然環境保護、生活環境保全への意識の高まりとこれを実践するライフスタイルの普及。 テレワークの推進等による在宅勤務の増加により、家庭ごみ排出量の増加。 北区民意識・意向調査において、区民の区のイメージとして「自然環境に恵まれている」が24.4%で、全体の第2位である。 受動喫煙への意識の高まり。また、屋外における喫煙者の増加に伴う喫煙行動に関する苦情・相談等の増加。 建築物の解体工事の際、近隣区民からアスベストの有無に関する問い合わせ等の増加。

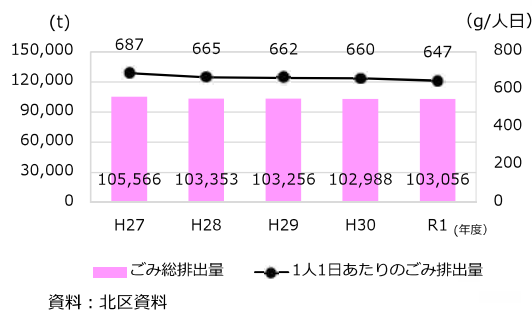
3 区の現状

項目	現状
(1) 脱炭素社会	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ意識は向上しているが、エネルギー消費量削減だけでなく、クリーンなエネルギー活用への関心をさらに高めていくことが必要。(区内の電力使用量に対する区内再エネ発電電力量の割合 令和元年度3,18%) 森林環境譲与税を活用した学校施設の木質化を進めている。地球温暖化対策に寄与する森林保護の重要性をさらに区民に周知していくことが必要。
(2) 資源循環	<ul style="list-style-type: none"> 人口の増加や事業系ごみの増加等によりごみ排出量は下げ止まり傾向にあるとともに、プラスチックごみや食品ロスなどは、社会的課題が大きく特に重視して排出削減、資源化を図ることが必要(区全体の資源化率低下(平成27年度 19,1% → 平成30年度 17,9%))。 現在は可燃ごみとして収集し清掃工場で焼却処理を行っているプラスチックごみの資源化に向け、分別回収を実施予定。
(3) 自然環境の保全・創出	<ul style="list-style-type: none"> 保護樹木指定制度による維持管理等経費の支援、みどりの協定・モデル地区の認定制度、環境学習の場など、区民やボランティア団体等との連携による環境緑化の取組みを推進。 一定規模以上の開発・建築を行う際に提出が義務付けられている緑化計画書の確認・認定。
(4) 生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> 路上喫煙禁止条例の周知、ルール徹底が必要。 大気環境基準(環境基本法に基づく)は光化学オキシダント濃度を除く項目で達成。ごみ屋敷など不衛生な居住環境の改善の必要性。 北区の環境に関する満足度について、地域内の清潔さの低下(平成25年度 77,2% → 令和3年度 70,1%)

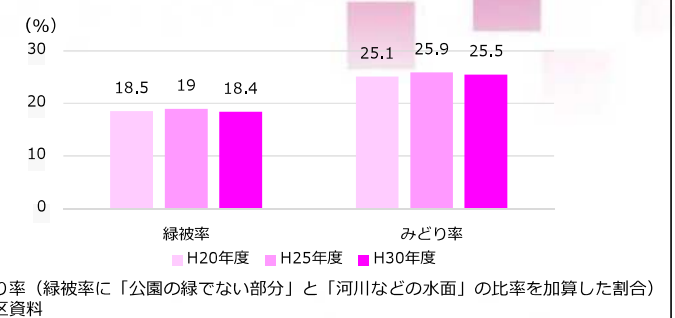
図表1 区内エネルギー消費量



図表2 区内ごみ排出量の推移(総数及び区民一人あたり)



図表3 北区における緑被率、みどり率



4 今後の課題

- ◆ 北区だけで地産地消型再生可能エネルギーの利用促進を行うには限界があり、他自治体や企業との連携体制構築が重要。
- ◆ 森林環境譲与税の活用について、さらなる公共施設の積極的な木材利用や、環境学習やカーボンオフセットなど森林を保有する他自治体との連携が必要。
- ◆ フードドライブ等の取組みによる食品ロスの削減やプラスチックごみの分別回収と再資源化。
- ◆ エシカル消費も含めた区民・事業者・区の連携・協働などによるさらなるごみの発生抑制・排出抑制・資源化の必要性。
- ◆ 環境学習など啓発事業の周知と参加促進の必要性。
- ◆ 保護樹木指定制度や建築物の緑化、みどりの協定・モデル地区など緑の自然保護・育成に係る各種制度の運用の改善の必要性。
- ◆ 喫煙者と非喫煙者が共存できる環境の創出や大気汚染防止など、区を取り巻く生活環境の問題点の把握と区民への情報提供と適切な対策の必要性。

5 取組みの方向性

- これまでの「低炭素」から「脱炭素」へのマインドチェンジと中長期的な視点からの二酸化炭素排出削減量等の新たな目標設定とロードマップの明確化による計画的な取組みの推進。
- 森林環境譲与税の活用について、学校施設の木質化をはじめ、区民への啓発や他自治体との連携といった効果的な使途を検討。
- 食品ロスも含めたごみの減量化と資源の有効利用の推進。
- エコ広場館等の活用による区民や事業者への啓発と主体的なリサイクル活動の促進・支援。
- 自然との共生に係る区民への啓発や環境リーダー、ジュニア環境リーダー登録制度の整備拡充と活用との推進、建築物緑化の推進など、区民等との連携と各種制度の改善によるみどりと自然の保全・創出。
- 路上喫煙環境、大気、水質、騒音、振動など生活環境の状況把握と情報提供など、区民を取り巻く生活環境の維持・改善。

6 あるべき姿・将来像

・・・今後の審議会の議論により具体化していきます

北区基本構想策定に向けた ワークショップ等の実施結果

- ・小学生と区政を話し合う会 2～3ページ
- ・中学生モニター 4～5ページ
- ・高校生ワークショップ 6～8ページ
- ・区民ワークショップ 9～12ページ
- ・各ワークショップのまとめ 13～14ページ

小学生と区政を話し合う会

- 【概要】 実施日：令和3年10月25日（月） 16:00～18:00
参加者：区立の小学校13校より、小学5年生、6年生36名が参加
テーマ：「20年後の北区のキャッチフレーズを考えよう！」
内容：6班に分かれて、グループワーク



2

■「北区の好きなところ、こうなっていたらよいと思うこと」

- いろいろなイベントを行っていて、みんなが楽しくすごせる
- 道路へのポイ捨てがない。
- 活気があり、人が優しい
- 唾を吐く人がいない。
- 北区から都へ。国へ。国を良くしたい
- 道路や公園にゴミが落ちていない。
- 交通（網）が発達している
- もっと遊べるところが沢山あればよい
- 公園・児童館が多く、他校と交流ができる
- もっと活気があってほしい
- 自然が豊かで、春夏秋冬楽しめる
- 外国人がたくさんいて、北区の魅力が伝わっている
- おいしい料理を食べられるお店がたくさんあること

北区基本構想

■「20年後の北区のキャッチフレーズ」

「自然と共存する町・北区」

「緑が多く 運動のできるまち 北区」

「ゴミ減少 しっかり取り組む 北区民」

「にぎやかでクリーンな町」

「元気 輝き それが北区！」

「輝きたくさん 元気・活気それが北区！」

「多くの世帯で多くの人住める町」

「みんな『あたりまえの暮らし』ができる北区！」

「帰宅したくなる街 北区」

「ぶらっと来たくなる街 北区」

「来たくなる街 北区」

「行きたくなる街 北区」

「明るく楽しく来たくなる街 北区」

「住んで幸せ 北区」



北区基本構想

中学生モニター

【概要】 実施日：令和3年11月27日（土） 10:00～12:00
参加者：区立の中学生7校 13名が参加
テーマ：「20年後の北区のキャッチフレーズと私たちができること」
内容：3班に分かれて、グループワーク



4

■「北区が好きなのところ、こうなっていたらよいと思うこと」

- 学校がきれいなところ
- 自然、緑が多いところ
- 公園が近くにいくつもあるところ
- 街並みがすてき
- 都電や飛鳥山など昔ながらの風景を大切にしている
- 歴史を大切にしている
- 交通網が整っている
- 子どもに優しい 子育てに優しい
- ポイ捨てが比較的少なく清潔
- 観光で訪れる人が増えてほしい
- 自然を守りたい
- 公園で球技をしたい
- 電灯を増やしてほしい
- トップアスリートと交流したい
- 学校で芝居、音楽鑑賞の授業を増やしてほしい
- 保育所を増やしてほしい
- きれいな街にしたい

北区基本構想

■「20年後の北区のキャッチフレーズ」「そのためにできること」

グループ	課題1 キャッチフレーズ		課題2 そのためにできること
1	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全・レトロなまち北区 ・どの世代も暮らしやすいまち北区 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> S N Sで若い世代へアピール 学校で交通ルールを学ぶ 自治体の活動でのふれあい 北区をまわる 環境を汚さない
2	<ol style="list-style-type: none"> 1.文化のまちKITAKU 2.交流のまちKITAKU 3.世界の人と北区から 4.北区の緑で街も心もすこやかに 5.北区のまちをキレイキレイ 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> アーティストバンクの活用、演劇祭の広報 ボランティア活動、学校同士の交流、ユニセフ
3	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが行きたくなるまち、北区 ・全世代に優しいまち、北区 	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 北区外へアピールする ・インターネットを介した紹介 ・大規模なイベント ・写真コンテスト ・チラシやポスターなどの広報活動

- 【概要】 実施日：令和4年1月21日（金） 17:00～19:00
参加者：区内の高校に通う高校生 5校 12名が参加
テーマ：「高校生のあなたが思う20年後の北区の将来像とわたしたちができること」
内容：事前課題をもとに3班にわかれオンライン上にて意見交換

■「北区の好きなところ」

- のどかで生活しやすい環境
- 住民同士挨拶をするところ
- 治安が良い
- 商店街から大型商業施設まであり、年齢を問わず住みやすい環境
- 環境美化に積極的なところ
- 交通手段に困らない 都電荒川線が通っている
- 公園など多く、自然豊か。史跡を大切に保存している
- 緑がたくさんあり、教育環境がとても良い
- 子育てしやすいまち
- 高齢者福祉や子育てへの施策に力を入れている

■「北区のイメージ」

- 家族連れにやさしい
- 治安が良くて、住みやすい町
- 商店街が多い
- 公園や川沿い町中のある自然
- 電車、バスなどの利便性がよく多くの人が行き来しているイメージ
- 教育、防災、公園などの施設が充実している
- 高齢者が多い
- 都心の繁華街と住宅地の良さが調和している都市
- 都心のベッドタウン



■「北区の特徴」

- 交通網が整っており、都内外へのアクセスがしやすい
- 日本を代表する企業の工場や本社などが多い
- 緑や子どもが遊べるような公園が凄く充実している
- 公園や博物館、歴史的建造物などがあり、教育環境が良い
- 商店街が賑わっている
- ボランティアなどに出る方が多い(私含め)
- 子育て制度が手厚い
- 年齢を問わずに住みやすいところ
- 通学中に外国人もよく見かけるため、多様化が進んでいる
- 高齢化が進んでいると同時に、認知症の高齢者やひとり暮らしをする高齢者が増えている
- 人と人との関係が希薄であるところ
- 若い人向けというのがない

■「北区の課題」

- 観光地としての人気が少ない（名所などが知られていない）
- 高齢者だけ、若い人だけではなく年齢関係ないものを作る
- もっと子どもが安心して夜道を歩けるように街灯を増やしたり、活気のある町にすること
- 若者が集うような場所、イベント（祭り）を増やす
- ポイ捨てが多い
- 路地裏が夜暗い
- 人と人との関係が希薄なため、災害の時など、公助だけに頼るのではなく、自助・共助のためにも地域との交流が必要ではないか。

■「20年後の理想の北区の将来像」

- 都電荒川線が20年後も走っている
- 交通網がさらに発達した北区
- バイオバスが多く走っている
- 多くの観光客が訪れる北区
- 災害に強い街
- 医療などがより発展し、病気の早期発見などができ、より長生きする人が増える街
- 人と人が普段から助け合える街
- 同世代の人々はもちろん、異なった世代の人々とも交流できる街

■「将来像のためにわたしたちができること」

- 北区についてより詳しく知り、北区の魅力を発信する（SNS学校で共有）
- 北区の良さを友達に話してみたり、北区のイベントに積極的に参加すること
- 学生である私たちが積極的に北区の施設を利用し活気づける

- 高齢者向けの政策や施設の整備も行われれば良い北区
- 安心して歳を重ねることができる北区
- 若者が集まって区のイベントに参加するような町
- 活気があり、子育てに最適な町
- 自然溢れる北区のままであってほしい
- 街灯などで夜でも歩きやすい雰囲気
- 積極的な情報発信がされている
- 外国人への支援体制がより良くなれば全員が住みやすい北区

- 高齢者にも情報が伝わるようにラジオなどで情報を発信
- 地域の方と学校の交流の場を設ける
- 災害の観点到に視点がなかった。災害に興味を持っていきたい。

北区基本構想

区民ワークショップ

9

【概要】対象：区民意識・意向調査の対象者及びwebアンケート回答者のうちの希望者 57名申込み

日時：第1回：令和3年 9月11日（土） 10:00～12:00

第2回：令和3年10月23日（土） 10:00～12:00

第3回：令和3年12月 4日（土） 10:00～12:00

場所：北とぴあ ※第1回のみ緊急事態宣言中のため、オンライン開催



北区基本構想

第1回 全体テーマ「北区のキャッチコピーを考えよう」

参加者：14名（オンライン開催、3グループに分かれてグループ討議）

テーマ1：「北区の好きなところ」

住みやすさ・暮らしやすさ

- ・ 住みやすい、生活しやすい
- ・ 教育環境・福祉環境がよい、子育て環境に魅力がある

自然環境、歴史・文化

- ・ 緑が多い、植栽がきれい、個性的な公園がある、自然空間がよい
- ・ 飛鳥山公園と中央図書館があり、文化水準が高い

交通

- ・ 利便性・交通の便がよい
- ・ 駅がたくさんあり交通の便がよい、アクセスしやすい

自治意識、多様性

- ・ 区民でまちづくりをする雰囲気がある、自治意識が高い
- ・ 外国人との共生、文化の多様性がある

活気・人情、特産品

- ・ 活気、人情がある
- ・ せんべろの街、北区おでん、特産品が多い

テーマ2：「北区のキャッチコピーを考えよう」

- ・ 「歴史、文化、住環境、教育、やすらぎ、よくばりなあなたにぴったりの街」
- ・ 「I（インキュベーション、育）、C（カラフル、彩）、T（タウン、愛着）」
- ・ 「暮らしにやさしい自然なまち」
- ・ 「歴史があるまち」
- ・ 「歴史と可能性を感じるまち」
- ・ 「未来を考える街」
- ・ 「彩どり豊か みんなの北区」
- ・ 「つながりのあるまち」
- ・ 「おでんで北区はあったかい」
- ・ 「ボーダレスタウン・ボーダレスシティ」
- ・ 「都心に近いと知らない人がハマるかも」
- ・ 「誰もが自由に移動できる」

北区基本構想

第2回 全体テーマ「こんな北区になってほしい！」

参加者：20名（4グループに分かれてグループ討議）

テーマ1：「北区の大事にしたいこと、残念なところ」

大事にしたいこと

- 子育てしやすい、物価が安い、治安がよい
- 住民の参加がある、人情味、あたたかみ
- 個性ある地域、あたたかい商店街
- 史跡、祭り、歌、せんべろ
- 緑や自然、個性豊かな公園、街路樹
- 交通の便がよい、移動しやすい
- 国際交流、教育レベル、誇れる図書館、学校・大学

残念なところ

- 知名度が低い、特色が見えにくい
- 坂・段差が多い、ベンチがない
- 風景がさびしい、水害の恐れ
- 王子駅は区を中心なのに、バリアフリー化されていない
- 働く場が少ない、有力な企業が少ない
- ショッピングモールがない
- Wi-fi環境が弱い、電波障害
- 変革望まない区民性、自信がない

テーマ2：「20年後、こんな北区になって欲しい」

- 「タワマンなしで程よく発展！」
- 「創造的な街 課題を抽出して、自ら解決できる」
- 「北区ドリーム」
- 「緑が多くて安全でデジタル化が進んで若者の多い人気の街」
- 「多様な人が生き生き暮らせる！」
- 「包容力のある街」
- 「住みやすい街」
- 「おもしろい街！」
- 「活気ある商店街」
- 「安全で住みやすい街」
- 「安心・安全に仕事もできる！」

北区基本構想

第3回 全体テーマ「こんな取組みをしていこう！」

参加者：19名（4グループに分かれてグループ討議）

テーマ：「こんな取組みをしていこう！」

健康・福祉（高齢・障害）グループ

- 北区の福祉行政の見える化と棚卸し
- 高齢・障害についての全ての年齢層への教育推進
- 高齢者も子ども・障害者も集まれるコミュニティ・仕組みづくり
- このテーマに関する予算・人材が少ないのでは？

子育て・教育グループ

- 地域コミュニティで子育て！ IT活用必須
- 地域差のない子育てインフラ
- 多様な子育て家庭をサポート
- 北区のよさを残し、生かした子育て、IT教育・充実は必須、経済支援

産業、観光・シティプロモーション、コミュニティ・文化・生涯学習グループ

- 日常的なイベントによるコミュニティづくり
- 区の共創プラットフォーム化を進める（区民特派員など）
- 市民がつくる北区のラジオ・テレビ・インターネット

防災・防犯、道路・交通、都市計画、環境グループ

- 防災のDX化（町内掲示板デジタル表示、避難情報発信（スマホ）等） ★テクノロジーの活用
- コミュニティづくり（公園の活用：防災公園、北区民マルシェ、キャンプできるように、カフェ、北区セントラルパーク）
★協力・助け合いを当たり前

ワークショップ概要（北区のすきなところ）

	小学生	中学生	高校生	区民
参加者数	36名	13名	12名	延53名
意見	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなイベントを行っていて、みんなが楽しくすごせる 活気があり、人が優しい 北区から都へ。国へ。国を良くしたい 交通（網）が発達している 公園・児童館が多く、他校と交流ができる 自然が豊かで、春夏秋冬楽しめる 外国人がたくさんいて、北区の魅力が伝わっている おいしい料理を食べられるお店がたくさんあること 	<ul style="list-style-type: none"> 学校がきれいなところ 自然、緑が多いところ 公園が近くにいくつもあるところ 街並みがすてき 都電や飛鳥山など昔ながらの風景を大切にしている 歴史を大切にしている 交通網が整っている 子どもに優しい 子育てに優しい ポイ捨てが比較的少なく清潔 	<ul style="list-style-type: none"> のどかで生活しやすい環境 住民同士挨拶をするところ 治安が良い 商店街から大型商業施設まであり、年齢を問わず住みやすい環境 環境美化に積極的なところ 交通手段に困らない 都電荒川線が通っている 公園など多く、自然豊か。史跡を大切に保存している 緑がたくさんあり、教育環境がとても良い 子育てしやすいまち 高齢者福祉や子育てへの施策に力を入れている 	<ul style="list-style-type: none"> 生活しやすい 教育・子育て環境・福祉環境がよい 緑が多い、個性的な公園がある 飛鳥山公園と中央図書館があり、文化水準が高い 駅がたくさんあり、利便性・交通の便がよい 区民でまちづくりをする雰囲気がある、自治意識が高い 外国人との共生、文化の多様性がある 活気、人情がある せんべろの街、北区おでん、特産品が多い

ワークショップ概要（20年後の北区のキャッチフレーズや将来像）

	小学生	中学生	高校生	区民
参加者数	36名	13名	12名	延53名
意見	<ul style="list-style-type: none"> 自然と共存する町・北区 緑が多く運動のできるまち北区 ゴミ減少 しっかり取り組む北区民 にぎやかでクリーンな町 元気 輝き それが北区！ 輝きたくさん 元気・活気それが北区！ 多くの世帯で多くの人住める町 みんな『あたりまえの暮らし』ができる北区！ 帰宅したくなる街 北区 ぶらっと来たくなる街 北区 来たくなる街 北区 行きたくなる街 北区 明るく楽しく来たくなる街 北区 住んで幸せ 北区 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全・レトロなまち北区 どの世代も暮らしやすいまち北区 文化のまちKITAKU 交流のまちKITAKU 世界の人と北区から 北区の緑で街も心もすこやかに 北区のまちをキレイキレイ みんなが行きたくなるまち、北区 全世代に優しいまち、北区 	<ul style="list-style-type: none"> 都電荒川線が20年後も走っている 交通網がさらに発達した北区 バイオバスが多く走っている 多くの観光客が訪れる北区 災害に強い街 医療などがより発展し、病気の早期発見などができ、より長生きする人が増える街 人と人が普段から助け合える街 同世代の人々はもちろん異なった世代の人々とも交流できる街 高齢者向けの政策や施設の整備も行われれば良い北区 安心して歳を重ねることができる北区 若者が集まって区のイベントに参加するような町 活気があり、子育てに最適な町 外国人への支援体制がより良くなれば全員が住みやすい北区 	<ul style="list-style-type: none"> タワマンなしで程よく発展！ 創造的な街 課題を抽出して、自ら解決できる 北区ドリーム 緑が多くて安全でデジタル化が進んで若者の多い人気の街 多様な人が生き生き暮らせる！ 包容力のある街 住みやすい街 おもしろい街！ 活気ある商店街 安全で住みやすい街 安心・安全に仕事もできる！